

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和 45 年の設立以来、昨年度までの卒業生は 956 名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.76 Aくん（令和2年3月卒・機関専攻・現16歳） 遠洋まぐろはえ縄漁船

Q 仕事の内容は？

- ・ 3日に1度の投縄と揚縄作業
- ・ 機関の整備と修理

Q 大変な事は？

- ・ 絡まってしまった縄を解くのに4時間かかったこと。
- ・ インドネシア人が作る料理が辛いこと。
- ・ いくら寝ても朝が眠いこと。

Q 良い事、楽しい事は？

- ・ 世間では、「まぐろはえ縄漁業は辛い」と言われますが、私は、「何もかもが楽しい」です。

Q 学園在学中の思い出は？

- ・ 遠洋航海実習での上陸研修（鹿児島）で、自由時間に釣り好きの仲間と釣具屋巡りをしたこと。

Q 学園で学んだ(身に付けた)事で、現場で役立っていることは？

- ・ 機関の授業や実習でメインエンジンの運転・停止方法や整備・修理方法を学んだこと。
- ・ ロープの刺し継ぎ（現場使う縄は、実習中に使用するロープよりも細いものですが、実習で基本をしっかりと身に付けておけば大丈夫です）。

Q 学園に入学・卒業して良かったと思うことは？

- ・ 国の就業準備資金を利用できたことで、安心して学園生活を送ることができました。

☆ 在学生にアドバイス

- ・ 船上で長い期間、同じ仲間と共同生活をするので、何事にも嫌がらずに行動する人が好まれます。
- ・ 船では海技士資格保持者が求められます。在学中により上級の海技士資格にチャレンジしてください。

（令和2年8月18日）